

複式学習指導実践事例(算数科)

5年「体積」《本時8／13》

○目標

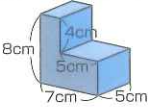
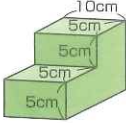
直方体を組み合わせた形の体積の求め方を考えることができる。

6年生は、導入時にガイド学習で学習の見通しをもたせ、指導過程をずらすことにより、5年生の直接指導を行えるようにする。

6年「立体の体積」《本時4／7》

○目標

立体の体積を、角柱の求積公式を使って考えることができる。

過程	教師の指導と評価	主な学習活動(第5学年)	位置時間	主な学習活動(第6学年)	教師の指導と評価	過程
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項との比較から学習問題を焦点化するため、直方体の求積公式を算数ボードに掲示しておく。 	<ol style="list-style-type: none"> 学習課題をつかむ。 「図のような台の形の体積を求めよう。」  学習問題を焦点化する。 「直方体を組み合わせた形の体積はどのようにして求めたらよいだろうか。」 	7	<ol style="list-style-type: none"> 前時の復習をする。 練習問題に取り組む。 「ずらしの設定」 学習課題をつかむ。 「図のような立体の体積を求めよう。」  	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な立体をイメージさせ、複合立体を角柱として見ることができるようになるために、立体模型を用意する。 	つかむ
見通す	<ul style="list-style-type: none"> ガイド役の子童には、事前に学習の進め方を確認させるとともに、間接指導時の活動内容をしっかり理解させ、自力解決できるよう指導する。 	<ol style="list-style-type: none"> 解決の見通しを立てる。 直方体や立方体の求積公式を確認する。 「わたり」前の直接指導 自分で考える。 4年生の面積の学習で、長方形と正方形に分けて考えたことを、体積を求める考え方に使ってみようかな。 2つの直方体に分けて考えられないかな。 など 	6	<ol style="list-style-type: none"> 解決の見通しを立てる。 角柱の求積公式を確認する。 自分で考える。 2つの四角柱に分けて求めようかな。 「底面積×高さ」は使えないかな。 底面積はどこになるだろう。 など 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に立体模型を用意し、操作活動を充分に行わせながら、自分の考えをもつことができるようにする。 	見通す
調べる	<ul style="list-style-type: none"> ※ 直方体を組み合わせた形の体積の求め方を考えることができたか。 ※ 自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いて自分の考えを深めたりすることができたか。 	<ol style="list-style-type: none"> 考え方を発表し、話し合う。 立体模型や図、式を提示しながら、考えたことを分かりやすく説明する。 互いの考え方について、比較・検討する。 学習のまとめを行う。 直方体を組み合わせた形の体積は、2つの直方体に分けて求めればよい。 練習問題を行う。 	15	<ol style="list-style-type: none"> 考え方を発表し、話し合う。 立体模型や図、式を提示しながら、考えたことを分かりやすく説明する。 互いの考え方について、比較・検討する。 学習のまとめを行う。 図のような形も1つの角柱なので、(底面積)×(高さ)を使って求めればよい。 練習問題を行う。 「わたり」後の直接指導 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 既習の方法や、「底面積×高さ」を使って体積の求め方を考えることができたか。 ※ 自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いて、自分の考えを深めたりすることができたか。 	調べる
深める	<ul style="list-style-type: none"> 定着を図るために、補助線の引き方を考えさせ、どのように分ければ、直方体や立方体になるか考えさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 学習のまとめを行う。 直方体を組み合わせた形の体積は、2つの直方体に分けて求めればよい。 練習問題を行う。 	7	<ol style="list-style-type: none"> 学習のまとめを行う。 図のような形も1つの角柱なので、(底面積)×(高さ)を使って求めればよい。 練習問題を行う。 「わたり」後の直接指導 	<ul style="list-style-type: none"> 角柱ではないように見える立体でも、見方を変えることで角柱であることを確認する。 	深める
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 学年相互にがんばりを認め合わせるために、ガイドに学習内容を発表させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 学習のまとめを行う。 直方体を組み合わせた形の体積は、2つの直方体に分けて求めればよい。 練習問題を行う。 	7	<ol style="list-style-type: none"> 練習問題を行う。 「わたり」後の直接指導 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 間接指導後の直接指導で、個別に指導した児童の達成状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定着を図るために、どの角柱でも「底面積×高さ」で体積で求められることに気付かせる。 学年相互にがんばりを認め合わせるために、ガイドに学習内容を発表させる。 	まとめる
振り返る	<ul style="list-style-type: none"> 学年相互にがんばりを認め合わせるために、ガイドに学習内容を発表させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 振り返りカードに記入し、次時への意欲をもつ。 	7	<ol style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 間接指導後の直接指導で、個別に指導した児童の達成状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年相互にがんばりを認め合わせるために、ガイドに学習内容を発表させる。 	振り返る
		<ol style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 振り返りカードに記入し、次時への意欲をもつ。 	3	<ol style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 振り返りカードに記入し、次時への意欲をもつ。 		